

テーマ	発言者	意見概要	事務局対応案
指標全体	牛田委員 河田委員	34の取組事項のうち、指標を設定している項目に偏りがある。未設定の項目も、指標の設定を検討できないか。	指標を再検討し、可能な限り多くの項目に対応するよう、指標を追加(資料3参照)。
	牛田委員	指標の目標値について、「前年度を上回る」という表現は「毎年前年度を上回る」とした方が良い。	御意見のとおり、「毎年前年度を上回る」という表現に変更(資料3参照)。
	飯村委員	それぞれの指標がどの取組みと対応しているか、指標の妥当性がわかるようにしてほしい。	指標の設定にあたり、「第3期プランとの関係性、設定の背景等」を明記(資料3参照)。
	高崎委員	新規の指標と第3期までの取組みがどう紐づいているのか、明らかにしてほしい。	
個別指標	河田委員	「通級が増えること」よりも「学びのものさし」の普及に関する指標が必要ではないか。	御意見を踏まえ、「学びのものさし」の活用に関する指標に変更(資料3参照)。
	河田委員 飛松委員	生涯学習の指標として、「こども図書館」についての指標があっても良いのではないか。	御意見を踏まえ、「こども図書館」に関する指標を追加(資料3参照)。
	牛田委員	「いじめはいけないことだと思う」割合は、100%を目指すべきではないか。	御意見のとおり、目標値を100%に設定(資料3参照)。
	高崎委員 飛松委員 吉田委員	「いじめを自分で解決できる」を指標に含めるべきなのか。傍観者に関する指標が必要ではないか。	御意見を踏まえ、「いじめを見たり聞いたりしたとき」の行動に関する指標を設定(資料3参照)。
施策体系	坂梨委員	「家庭・地域の教育力の向上」については、幼児期だけでなく、それ以降も関わってほしい。	素案において、幼児期以降も対象とする(資料4参照)。
		「半導体人材育成」について、「半導体関連の人材育成」のような、幅広い表現にできないか。	素案において、「半導体関連産業をはじめとする地域産業全体を支える人材の育成」と記載(資料4参照)。
	飯村委員	高校生だけでなく、中学生の海外への挑戦も支援が必要と考える。	『中高生を対象とした「海外チャレンジ塾」』など、学年を問わず国際交流の機会創出に取り組む旨を記載(資料4参照)。
子供からの意見聴取	委員全体	「教育の中で重点的に取り組むべきと思うもの」という質問は、子供たちにとって回答が難しいのではないか。	御意見を踏まえ、設問の方式を変更(資料5参照)。
	河田委員	教員が子ども達と対話する時間を確保できているか、測ることが必要ではないか。	御意見を踏まえ、「先生とコミュニケーションの時間をどの程度取れているか」の設問を追加(資料5参照)。